

Project 01

「知って・わかって・支援する」

能登と繋がりを持つすみだの人をきっかけに、身近で、目に見えて実感できる支援をしませんか？

EVENT PROGRAM

1. チャリティ上映・映画で能登を知る
2. 能登のいまを理解する座談会
3. 能登の地のものを食す会

ENTRY FEE

¥ 3,000 ※参加費から実施経費を除いた全てを支援金とします

上映会の参加費は支援金としてチャリティ上映の主旨にそってほくりくみらい基金に寄付いたします。そのほかの支援金はこれまで墨田と能登で顔の見える関係を築いてきた方々に寄付をしております（詳細裏面参照）

SCHEDULE

第1回 1月13日（土）

- 時間 : 16:30 開場、17:00 開演、20:00 終了
- 会場 : オーロラキッチン
- チャリティ上映：『ひとにぎりの塩』
- 座談会ゲスト：里山まるごとホテル 代表 山本亮
- 食べる支援：特製おにぎり

第2回 1月26日（金）

- 時間 : 18:30 開場、19:00 開演、21:30 終了
- 会場 : 旧邸稽古場（東京都墨田区八広 2-45-9）
- チャリティ上映：『一献の系譜』
- 座談会ゲスト：里山まるごとホテル 代表 山本亮
- 食べる支援：能登のお酒、おにぎりなど

第3回 開催準備中！

「能登のわプロジェクト」は、継続的にイベントを開催予定です。最新情報は以下の URL よりご確認ください。イベント会場も随時募集しております。支援の形のひとつとして場所の提供しませんか？ご興味ある方はお問い合わせください。



facebook



instagram



note

参加応募
お問い合わせ



主催運営

能登のわプロジェクト

能登のわプロジェクト
あなたもできる身近な支援

墨田と能登の繋がり

2024年1月1日に起こった「能登半島地震」によって大きな被害を受けた能登半島は、「能登の里山里海」として2011年6月に日本で初めて世界農業遺産に認定されている地域です。その豊かな自然が育む食をきっかけに、墨田と能登は交流を広げてきました。輪島市にある「里山まるごとホテル」は曳舟駅前で開催される「すみだ青空市ヤッチャバ」への出店、「東向島珈琲店」監修のレアチーズの提供を通して相互に関係を深めてきたほか、「東向島珈琲店」は能登の「ナツハゼ」など里山の果実を名物であるレアチーズのソースに使用し、「スパイスカフェ」は能登の甲箱ガニを使用したピリヤニを提供し、石川県出身・墨田在住者による「もこや」では能登の食材を存分に味わえる企画を京島の「Halahelu」にて開催するなど、交流が様々なかたちで広まってきました。また、能登と墨田で二拠点生活をされている方も近所にいらっしやったりと、墨田と能登の繋がりが少しずつ身近なものになってきました。今回の災害に対して私たちは、今まで交流を深めてきた能登の方達への顔の見える支援を軸に、明朗で確かな支援の輪を身近なところから広げていくことを目的とし「能登のわプロジェクト」を進めて参ります。

Program

知る

チャリティ上映 映画で能登を知る



「ひとにぎりの塩」

石川県珠洲市仁江（にえ）海岸では、「揚げ浜塩」という日本で唯一となった手間のかかる製法で塩が作られている。

塩職人たちは、なぜこの方法で塩を作り続けるのか。こだわり抜いたその製法の秘密に迫る。



「一献の系譜」

石川県能登半島で古来より日本酒を造り続けてきた「能登杜氏」にスポットを当てたドキュメンタリー。

理想の一献を目指して目に見えない菌と闘い続ける杜氏たちの姿を映し出していく。

チャリティ上映 発起人/プロデューサー/映画監督

石井 かほり



聖心女子大学文学部哲学科卒。2006年にドキュメンタリー映画『めぐる』で監督デビュー。日本の伝統文化・職人をテーマにドキュメンタリー映画のプロデュースおよび監督を手がけ、国内外にて多数上映。2011年以降、地域交流創出事業にも力を入れ、イベントや着地型ツアーを企画運営。石川県においては4年間で、交流創出人口20,000人強を記録。台湾のイベントにて石川県のPRブースを展開するほか、海外で日本食を伝える事業のプロデュース（農林水産省主催）、講演や司会、ワークショップ講師、新聞、雑誌などの執筆活動と幅を広げている。現在、チャリティ上映を通し、能登半島地震の支援をしている。

わかる

能登にゆかりのあるゲストから聞く能登の今

座談会ゲスト/里山まるごとホテル代表

山本 亮



東京都出身。東京農業大学のゼミ合宿で輪島市三井町を訪れる。このときの美しい農村風景や、里山と

ともに暮らした豊かさに惚れこみ、この暮らしを自分自身が受け継ぎたいと思うように。2014年に三井町へ移住し、地域おこし協力隊として「能登輪島米物語」をプロデュース、「みい里山百笑の会」の立ち上げに携わる。協力隊終了後は、自身が惚れた里山の暮らしを、訪れた人により楽しんでもらいたい、住んでいる人がより楽しく笑顔で暮らせるようにしていきたいと、茅葺庵を中心とした里山まるごとホテルを構想。運営を行う。

今、能登はどのような状況なのか？

すみだからできることってなんだろう？

現地に移住し多くの繋がりを持つ、里山まるごとホテル代表山本亮さんを招き、能登の現実と、将来へ向けた取り組みを話し合う座談会。

ファシリテーター

瀧口 幸恵



墨田を拠点に国内外の複数コミュニティでアートプロジェクトや地方創生事業に関わる。これまで南三陸の復興アートプロジェクトや被災地研修プログラム企画運営なども行う。日比野克彦氏監修「TURN on the EARTH」参加アーティスト。100年後も地球と生きる社会をつくるコミュニティ「Sustainable Innovation Lab」事務局長。

支援する

能登の地のものを食して支援する

能登産のものを購入する = 生産者への支援

交通状況によって市場に流通することが難しいもの、傷がついてしまったり流通できないもの、能登で生産された多くのものが、生産者の売上にならないまま無駄になろうとしています。今、手に入るわずかなものでも、能登のものを選び、購入し、消費することで、支援に繋がろうと考えています。



「能登のプロジェクト」主催運営団体

本プロジェクトは、2024年1月1日に発生した能登半島地震をきっかけに、能登と墨田の交流に携わってきた有志により立ち上げられた団体です。一緒に運営していく仲間も随時募集しております。

発起人 すみだ青空市ヤッチャバ代表
里山まるごとホテル relationship officer

本多 秀行



学生時代より能登に通い活動をしている。平日は会社員として公共政策分野の業務に携わりつつ、ヤッチャバを運営する。すみだの食育、能登での取り組みのほか、千葉県多古町、神奈川県川崎市で里山の活用や農業体験にも取り組んでいる。